

# 再び自民新人に競り勝つ



## 山形県議選

# 関氏3選「宝の議席」守った 日本共産党現有2議席維持



3選を決め皆川市長(右)と握手

よりの0・1% 伸ばしました。次点との差はわずか33票差となり、最後の議席にすべり込みました。日本共産党は山形市区(定数9)でも、石川渉氏が9位で当選し、前職の渡辺ゆり子県議の議席を引き継ぎ、2議席を守りました。

「コロナ禍の医療・介護従事者の増員と、処遇改善」、「大軍拡に反対し平和を守る」を訴え、さらに議会改革で、「政務活動費の私物化問題」と「議員1人あたり80万円の海外視察」に反対を訴えました。

「大軍拡に反対し平和を守る」を訴え、結果を生み出すことができました。

「宝の議席」守った  
「一角を崩す」

いとの声もあがり、関徹氏が激戦を制し、自民の「一角を崩す」結果を生み出すことができました。

次の県知事選や鶴岡市長選挙で、自民復活を狙った布陣を許さない成果をあげたと言えます。

逆流押し返し平和と暮らしを守る闘いを

任期満了に伴う山形県議会議員選挙が9日投票され、鶴岡市区(定数5)では1人はみ出しの大激戦の中、日本共産党公認の関徹氏が7464票を獲得し、3期目の当選を果たしました。

暮らし・平和を守る政 策を訴え

得票数は前回比50票減でしたが、得票率は14・1%で、前回

関徹氏は、選挙の3つの争点、「子ども医療費無料

自民党は、市職員と市議会議員2人を辞職させ、新人3人擁立で、公明党の全面支援を受け、総力をあげました。しかし、市民からは「自民3人は多すぎ」「国の悪政に従うだけで政治は変わらない」との逆流を押し返して、平和と暮らしを守る闘いが急務です。

政治情勢は、野党共闘の切り崩し後、日本共産党を「封じ込める」逆流があります。

自公政権の「憲法破壊」の敵基地攻撃(反撃能力)や、社会を壊してきた新自由主義政策に、正面対決してきた政党だからです。

## 山形県議会議員選挙結果

### 鶴岡市区 (2023. 04. 09) 前回 (2019. 04. 07)

当	佐藤正胤	自新	10,457	当	佐藤 聡	自現	12,157
当	石塚 慶	自新	9,834	当	志田英紀	自現	11,780
当	今野美奈子	無現	9,401	当	高橋 淳	無新	9,470
当	高橋 淳	無現	8,219	当	今野美奈子	無新	8,989
当	関とおる	共現	7,464	当	関とおる	共現	7,964
次	菅原一浩	自新	7,431	次	佐藤久樹	自新	6,576

	今回(2023年)		前回(2019年)	
	得票数	得票率	得票数	得票率
日本共産党	7,464	14.10%	7,964	14.00%
自民党	27,722	52.50%	30,513	53.60%
無所属	17,620	33.40%	18,459	32.40%
	52,806	投票率 52.29%	56,936	投票率 53.70%



大変厳しい選挙でしたが、共産党の議席への強い期待を受け、党員・支持者の皆様の猛奮闘で33票差の勝利を手繰り寄せることができました。

吉村県政を進める役割、市民と対話でつくる市政を支える党の役割への評価も頂いて、自公勢力のかつてなく強力な組織戦に勝った意義を噛みしめています。

大軍拡、弱肉強食・格差と貧困の自公政治から、平和で、誰もが安心して暮らせる政治への転換目指して、更に前に進んでいきます。

山形県議会議員 関 徹

# 旧東田川郡役所 国指定史跡の意義どう捉えるか

教育部長「国は『当時と同じ敷地に現存は他に例ない』と評価

3月6日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、共産党市議団の加藤一議員は、①旧東田川郡役所の国指定史跡、②鶴岡市国際化推進プランについて、一般質問を行いました。

## 現在地に残してこそ歴史的価値が

に残し周囲を公園に整備し、郷土資料館として整備してこそ歴史的な価値がある」と町長に迫った。



本市として、国指定史跡の意義をどう捉えているか。

問 鶴岡市は昨年12月16日、「旧東田川郡役所及び郡会議事堂の国指定史跡へ向けた文化庁文化審議会の答申について」を公表した。

旧東田川郡役所は、昭和59年藤島庁舎新築

当時は、「旧庁舎は玄関部分を除いて取り壊し、跡地を公園に整備。旧議事堂は、いずれ新庁舎近くに移転して郷土資料館にする」という方針だった。

その方針を変えさせたのが昭和59年6月21日、元藤島町議会での今野良和議員の一般質問だった。

今野氏は、「現在地

された。



旧東田川郡役所・郡会議事堂 国史跡指定を祝う看板が設置されている

敷地内には、大正末期の建設と推測される旧東田川電気事業組合倉庫、及び土蔵も現存している。郡役所と郡会議事堂は、昭和63

年に県の有形文化財に指定された後に、解体・保存修理を行い、創建時の状態に復元された。

平成8年からは、東田川文化記念館として活用されている。

市教育委員会では、学術的な価値を明らかにするため、令和3年度に報告書を作成している。

史跡としての価値について、文化庁の資料では、1つには、郡役所と郡会議事堂が、当時と

## 外国人から選ばれるまちづくりは

問 鶴岡市国際化推進プランを策定する上で、在住外国人の実態はどうか。

企画部長 令和4年12月末現在、本市に住所を有する外国人は789人で、ベトナム201人（25%）、中国174人（22%）、フィリピン100人（12%）、韓国61人（7%）

で、この4か国で約68%を占めている。平成25年以降はベトナムが急増し、令和元年に中国を超えた。

在留資格は、永住者、日本人の配偶者など長期者255人（32%）、技能実習等248人（31%）、留学94人（12%）、技術・人文・国際交流等の高度人材79人（10%）となっている。

約7割が技能実習や

同じ敷地に現存する例は、全国的に見ても例がなく、和風建築の郡役所と洋風建築の議事堂が並び立つことは、明治後半期の西洋文化の受け入れ状況をよく示していること、

2つ目に、大正9年当時、郡営の電気事業は全国で4か所しかないなど、先進的な役割を果たし、郡制廃止後も、東田川電気事業組合に事業が引き継がれた重要な近代遺跡として、評価をいただいた。

国指定史跡となった後は、県の指定文化財に加えて、国の補助メニューの活用も可能となり、適切な保存と活用に取り組んでいく。

高度人材、留学生などで、1年から5年程度の短期間の居住となっている。

ハローワーク鶴岡管内の外国人労働者数は令和4年10月末日現在、110事業所で477人である。

そのうち技能実習が251人で全体の52%となっている。留学生の状況は、山形大学農学部には令和4年4月現在で68人、

公益文科大学と鶴岡高等専門学校には、令和4年5月現在でそれぞれ2人が在籍している。

全体として、インドネシアや中国などから多い。

現場に対する支援の現状はどうか。企画部長 技能実習生の受け入れのための管

理団体が3団体あり、日本語研修や、地域の文化・伝統行事への体験等の経費として1団体当たり10万円を上限に調整をしている。

小・中学校に在籍している外国籍の児童・生徒は、令和5年1月現在、小学生が18人、中学生が2人の合計20人である。

必要に応じ支援員を配置し、日本語指導や生活指導、学習支援を行っている。

医療・福祉サービスを円滑に利用できるよう、出羽庄内国際村に国際交流専門員を配置し、生活相談窓口でのサポートや、日本語教室など、支援を行っている。

問 外国人から選ばれるまちづくりへの課題はどうか

企画部長 今年度実施した外国人や事業所等へのヒアリング調査では、行政などで使われる敬語混じりの日本語が分かりにくい、言葉が一番の壁との意見がある。

これらの意見を踏まえ、出羽庄内国際村の機能を整理しながら、国際化推進プランを策定していく。

羽黒庁舎産業建設課入札結果	
（ ）内は予定価格	
3月30日入札分	
・ 令和4年災33-1、33-101川代山地区農地水路災害復旧工事（繰越明許）（羽黒町川代字川代山地内）（入札1業者）	
(株)太田建設	2,480,000円(2,510,000円)
	工期～5/19（落札率98.80%）